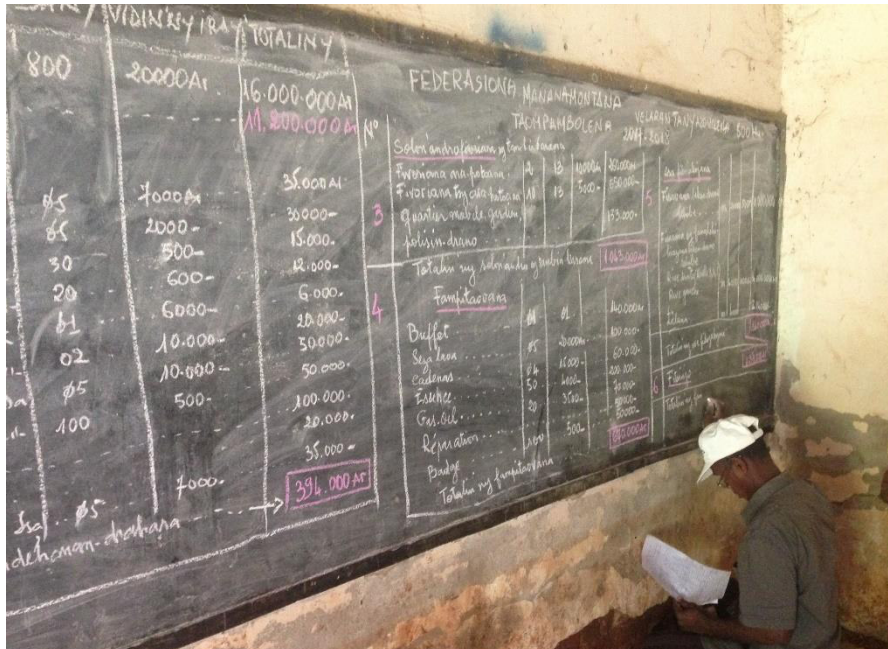


ラ フォレ セ ラ ヴィー ー森こそ命ー



La Forêt, C'est la Vie !



農家の努力でやっと実現した住民総会。自分たちの将来に関する話し合いは真剣そのもの。

共に歩んでいく大切さ

「緑のサヘル」との出会いは2014年8月。今年のように暑い日が続いていました。大学院生だった私は国際協力について学び、経験を積むべく、「緑のサヘル」でインターンをさせていただきました。

卒業後は青年海外協力隊として、アフリカにある島国マダガスカルへ。主な活動は灌漑用水を管理する水利組合の活性化。農業も水利組合も専門ではない私は、活動開始当初、自分にできることは何なのか日々悩まされました。そんな中、住民との話し方、計画の立て方など、活動を始める際に「緑のサヘル」で学んだ「住民と共に歩む」姿勢が活かされました。

住民1人ひとりの話に耳を傾け、彼らと話し合い活動計画を作りました。「こうしなよ!」と口出ししたくなる度に、主役は住民と何度も自分に言い聞かせ、ぐっところえました。活動が計画通りに進まないのもマダガスカルのムラムラ（現地語でゆっくりの意味）な生活ならではの。「彼らには彼らなりの歩み方がある。」

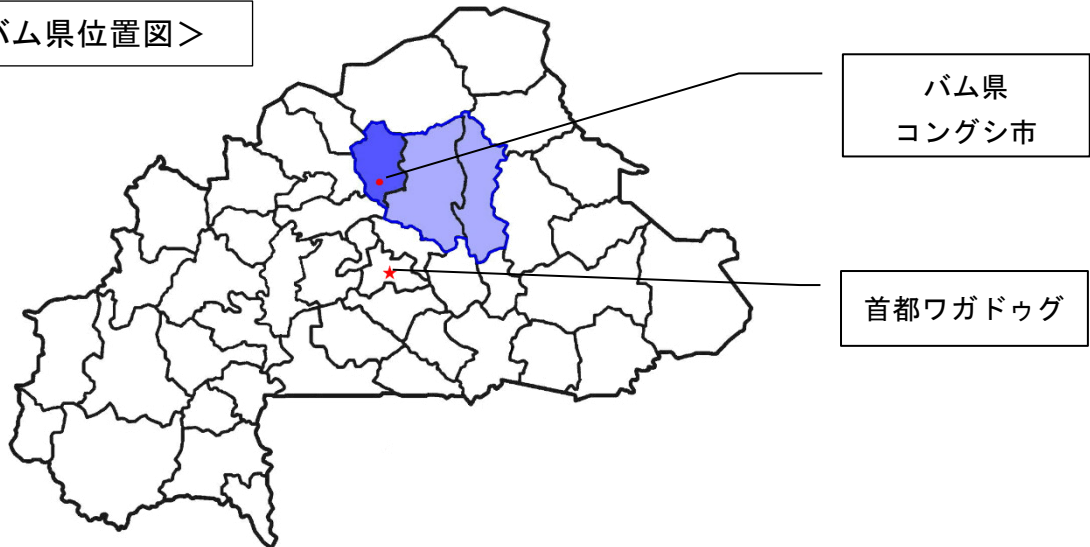
活動当初は、有名無実化していた水利組合。彼らのペースとともに2年歩んだおかげか、私が離任するところには役員を一新し、内規を新設し、組合総会を開催できるようになりました。「コウスケが起こしてくれた組合活動。もう私たちが寝てはいけません。」新しい水利組合長のひと言。

これからも国際協力の道を進んでいきたいと考えていますが、「緑のサヘル」で学んだ大切なことを胸に、私らしい活動を今後も続けていきたいです。

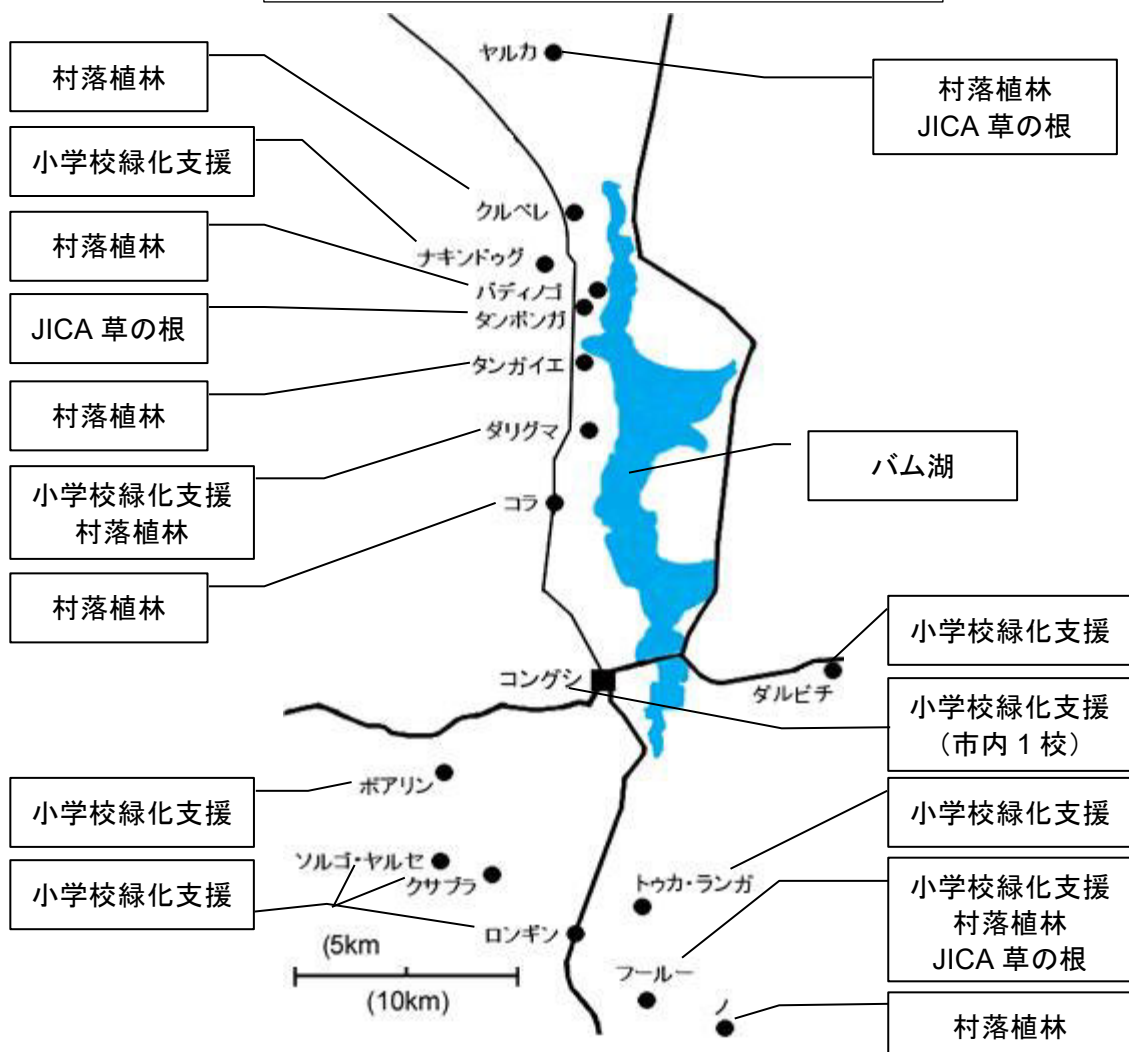
元インターン 鶴沢 光佑

ブルキナファソの活動地域図

<バム県位置図>



<バム県コングシ地域活動実施村位置図>



ブルキナファソから 1



ブルキナファソは、雨季を迎えています。今年は6月中旬から、頻繁に降るようになりました。これまでどおり「短時間に強い雨が降る」という降り方が多いのですが、1時間以上降り続くことが増えたように思います。雨枯れせず、順調な降雨を期待しています。

JICA 草の根技術協力事業

<ザイ・堆肥>

4月～6月にかけて、タンポンガ村、ヤルカ村、フールー村で、合計90名のメンバーによって、栽培地でのザイ穴の用意と堆肥入れが行なわれました。1人あたりの栽培地の面積は、平均で約4haです。

乾季の終わりにあたるこの暑い時期、家族や友人に手伝ってもらいながら、毎日のようにツルハシで穴を掘ります。理論的には1haあたり31,250穴を掘ることになっているため、4haでは約12万のザイ穴を用意することになります。しかも、雨が降り始める前に終わらせなくてはなりません。



栽培地にザイ穴を掘る住民
(フールー村)

プロジェクトを行なっている地域では、栽培地での農作業は男性の担当なのですが、ザイ穴掘りと堆肥入れは女性も手伝います。協力しながら、6月末までに作業を終えました。

<搾油>



シア油の搾りかすを、羊に与える搾油グループのリーダー
(タンポンガ村)

以前お伝えしたとおり、昨年12月にタンポンガ村の搾油機が破損しました。破損時の状況を聞き取った結果、女性グループに作業上の不手際があったことから、修理はグループの負担で行なうことになりました。

修理は首都でしか出来ず、移送代を含めて300,000cfa(約60,000円)が必要でした。搾油製品や飼育羊の販売等により、女性グループの資金は増えていましたが、全額負担するには高額でした。女性グループは男性たちと話し合い、移送代の一部を村の資金から出してくれるよう交渉し、了解が得られました。

男性たちに同意した理由を聞いたところ、女性たちの収入手段が失われている状態は自分たちにとっても好ましくないから、とのことでした。6月末に、修理の終わった搾油機がタンポンガ村に戻ってきました。女性グループだけでなく、男性たちも嬉しそうでした。

ブルキナファソから 2



村落植林プロジェクト

8村で行なっている村落植林プロジェクトですが、昨年12月と今年1月に19名の実施者によって合計16,110本のユーカリが植えられました。

雨季である今の時期、バム湖の拡大により冠水してしまった植栽地もあります。しかしユーカリは、根が水面下の状態でも枯死することはありません。6月末の時点で、15,097本が成育しています。成育率は、93.7%です。

7月に、「苗木だけでも支援してほしい」との強い要請があり、パディノゴⅡ村の住民にユーカリ苗木1,000本を配布しました。用材販売を始めた実施者のいる村が5村に増えたこともあり、植林支援を望む住民は大勢います。しかし、意欲の維持やモニタリングを考えると、全ての要請に応えることは困難です。



ダリグマ村のユーカリ苗木植栽地。冠水していますが、成育には問題ありません。

チャドから



食料事情は厳しく、降雨も思わしくありません

中央部の4州で、食料事情が厳しさを増してきました。備蓄穀物の減少ペースが例年よりも早いため、不足分は市場での購入に頼らざるを得ない状況です。しかし、手持ち現金も不足しているため、購買力が伴っていません。



雨季栽培の農作業を行なっている女性たち。
(チャド東部、2006年)

また、現在は雨季ですが、降雨状況が思わしくありません。南部では、まだ乾季の4月に最初の雨が降りましたが、雨季入りした6月になると降水量が減少しました。

雨季栽培では、穀物種子の播種は土地の湿り具合でタイミングを判断します。一方で、ソルガムやミレットの栽培期間を考慮すると、遅くとも7月中旬までには播種を済ませておく必要があります。今年は降雨状況が適当ではないため、例年と比べて全国的に播種時期がずれ込んでしまいました。今後の降雨状況を含めて、成育への影響が懸念されます。

国内活動



今期は、アフリカとの友好・協力関係の向上と子供の就学支援を目的としている NPO 「キ・アフリカ」でお話しさせていただいたほか、東京の「明治学院大学」、富山の「桜井高校」で講演を行ないました。また、「経団連自然保護協議会」が主催する企業と NGO の交流会に出席し、団体知名度の向上と支援機会の獲得に努めました。

< 東京事務局での主な活動一覧 >

5 月	13 日(日)	(特活) キ・アフリカ 定例会 アフリカ講座	講演	(菅川)
	17 日(木)	新温泉町立 浜坂中学校 事務所訪問 (3 年生 5 名)	担当	(菅川)
	23 日(水)	「企業と NGO との交流会」 (主催：経団連自然保護協議会)	出席	(岡本)
6 月	6 日(水)	「ニュースレター No.74」発送開始	—	—
	26 日(火)	「2019 年オリジナルカレンダー」作製開始	—	—
	28 日(木)	明治学院大学 「世界の環境を考える」講義 (3・4 年生 68 名)	講演 担当	(菅川) (菅川)
7 月	10 日(火)	富山県立 桜井高校 講演 (2 年生 198 名)	講演	(菅川)
	28 日(土)	「三鷹国際交流フェスティバル」事前説明会	出席	(本所)

桜井高校での講演

7 月 10 日、事務局長の菅川が「富山県立桜井高校」で講演を行ないました。桜井高校は、普通科、土木科、生活環境科からなる総合制高校で、国際的視野を持つ人材の育成に努めており、毎年外部講師を招聘して講座を開講する等、国際理解教育を進めています。

当日は、2 年生 198 名に対して、現地の生活や砂漠化の現状、「緑のサヘル」の活動を説明したほか、東日本大震災に際してアフリカの方々が示した優しいエピソードや、現地の子供たちが発信したメッセージ・ソングを紹介しました。

皆さん熱心に話を聞いて下さり、真剣な眼差しがとても印象的でした。講演後の感想には、現在の自分の生活や生き方について自問する声もあり、各々感じるものがあつたようです。



現地の写真を、食い入るように見る生徒たち。講演時間が、あっという間に過ぎてしまいました。

菅川がこの講座でお話しさせていただくのは 6 回目となりますが、学校を訪れた際に、前の年に講演を聴いてくれた生徒たちが、わざわざ会いに来てくれることも少なくありません。また昨年は、講演後に英会話部の皆さんが「英語プレゼンテーション・コンテスト」で「緑のサヘル」を取り上げ、紹介して下さいという嬉しい出来事もありました。桜井高校の皆さん、本当にありがとうございました！



2019年カレンダー販売開始!!

皆さまにご好評いただいている「緑のサヘル オリジナル・カレンダー」、いよいよ 2019 年版の販売開始です!! 今回も、世界各国で人々の暮らしを撮り続ける写真家・小松義夫氏と、旅行人・編集長の蔵前仁一氏のコラボで、素敵なカレンダーが出来上がりました。



ページを繰るごとに垣間見える西アフリカの自然や人々の暮らしは、時に愛らしく、時に圧巻です。どうぞひと時の間、アフリカを身近に感じて下さい!

カレンダー1冊で苗木10本を植えることができます。ぜひカレンダーの購入で国際協力を! 同封のカレンダーチラシまたはメールにてお申込み下さい。

(緑のサヘル東京事務局)

agsj_tokyo@sahelgreen.org

サイズ: A4 変形 (広げた時 A3 変形) 印刷: オールカラー28ページ
価格: 1部 1,200円 (税込み)、送料 200円 (全国一律・何部でも)

雨季キャンペーン継続中!

雨季は活動が集中します。食糧を増やすための畑への堆肥入れ、畑を侵食から守るチガヤの植え込み、また現金収入を確保するための養蜂も、搾油も、家畜飼育も、そして小学校への苗木配布も子供達による植栽も、雨季の活動です。

いずれも現地の生活を向上させたり、地域の環境を回復して未来に繋げる重要な活動です。全てが住民の希望によって始められ、その熱意に支えられている大事な取り組みです。

しかし、残念ながら「緑のサヘル」の資金は充分ではなく、このままだといくつかの活動が取り止めになってしまう可能性が大きい状況です。

雨季はまだまだ続きます。大きな期待を持ち、成果を楽しみに頑張っている現地の方々のため、どうぞご支援をお願いいたします。



雨季を迎えて配布された苗木と植林用具を前に、張り切っている子供たち。

「雨季キャンペーン」は、現地の雨季が終わる 10 月いっぱいまで!

ありがとうございました

* 敬称は略させて頂きました。

【 継続会員のみなさま 】

矢野友一郎・正代／菅沼浩敏／亘友子／河村ミヨ子／竹内信／國岡裕子
立花美江／手嶋康／手嶋千恵子／須藤さい／永井邦子／佐藤京子
松本仁一／町千恵子／北川華子／木村恵子／菊地博子

【 ご寄付を頂きました 】

賀川麻衣／加藤文子／坪居壽美子／松田曜子／亘友子／青山初穂
勝間朋子／高嬉在／澄田静／手嶋康／木嶋清江／村上和代／小池昌子
小笠原弘子／田中順子／馬場慶子／加納愛子／高橋量平／中尾寿美／林裕之
鈴木潤／増岡一樹／余語盛男／本多れい子／山本淑子／太田宜子／津田俊博
米多喜久夫／加藤治郎／田中ちえ子／個別教育フォレスト安多秀司
ショファイユの幼きイエズス修道会／国際ソロプチミスト大阪-中央

【 雨季キャンペーン ご寄付を頂きました 】

山本明子／加藤文子／澄田静／立花美江／榎本みつ枝／徳永由希子

他 匿名をご希望の方 3名

【 BOOK募金を通じてご寄付を頂きました 】

坂井真紀子

他 匿名をご希望の方 1名

【 ハガキ・切手・商品券・図書カードなどをいただきました 】

兵庫県新温泉町立浜坂中学校 3年

上記は 2018年5月1日から7月31日までにご支援頂いた方、また、それ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、8月1日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。

【 協力団体・助成団体 】

アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会／国際ソロプチミスト大阪-中央
(独)国際協力機構(JICA)／(財)農村更生協会 ハヶ岳中央農業実践大学校
(公財)毎日新聞東京社会事業団／(公財)イオン環境財団(環境活動助成)
緑の募金(管理団体:(公社)国土緑化推進機構)／(公財)国際緑化推進センター
ジャパンギビング／アフリカ料理 トライブス／(特活)国際協力 NGO センター
gooddo(株)／(株)プレジャーワークス／(特活)環境アリーナ研究機構
ソーシャルアクションリング／(財)環境メディアフォーラム
かざして募金 ソフトバンク／URBAN GREEN MAKERS (株)アールオーエヌ

【 写真を提供しました 】

杉並区立消費者センター平成 30 年度版「家庭科副読本『くらしと消費』」
東京都水道局「国際水協会(IWA)世界会議用プレゼン資料」

「緑のサヘル」からお知らせ

サポートスタッフ募集!

「緑のサヘル」は現在、東京事務局の業務を手伝って下さる方を募集しています。

(内容) ホームページ、フェイスブックの更新。

(条件) 交通費(実費)のみ。

(場所) 東京事務所またはご自宅。



ご連絡は下記まで!

お電話: 03 (3252) 1040

メール: agsj_tokyo@sahelgreen.org

【 もくじ 】

- | | |
|----------------|---------|
| 1・表紙 | 5・国内活動 |
| 2・ブルキナファソ活動地域図 | 6・事務局より |
| 3・ブルキナファソから 1 | 7・ありがとう |
| 4・ブルキナファソから 2 | 8・お知らせ |
| チャドから | |

< スタッフよりひと言 >

● 今年の日本は、現地よりも暑いですが、壁掛け扇風機を取り付けると過ごしやすくなりました。(岡本)

● 皆さんにご支援を呼びかけている「雨季キャンペーン」。ご寄付だけでなく、温かい励ましの声や労いの言葉をたくさんいただき、ただただ感謝する毎日です。(菅川)

● 猛暑の中、我が家のバオバブだけが元気です。だいぶ成長したので鉢を大きくしなければなりません。狭い我が家ではこれが大きな問題に…(本所)

● 先日ブルキナファソ事務所に 8 羽のヒナが誕生。厳しい環境の下、順調に生育中。毎日のコミュニケーションで癒され、幸せ度も急上昇。現在、大所帯になったココファミリーの新居を検討中。(大谷)

ご贈答品・ご挨拶に
どうぞ

♪ メニューがリニューアルしました ♪

ハケ岳農場の特産品

「ハケ岳中央農業実践大学校」の新鮮な材料と確かな技術から生まれた品々。おなじみのチーズ・アイスクリーム・カレーに、卵・乳製品が加わりました。送料を含めた価格は下記の表のとおりです。

大学校のご厚意により、お求めごとに
定価の 20 % が当会に寄付されます。

【お申し込み方法】

郵便振替用紙に、ご依頼人様とお届け先のご住所、氏名、電話番号、ご希望セット名と数量をご明記の上、下記までお振込みください。

00120-7-419488「緑のサヘル」

お振り込みからお届けまで 10 日程かかります。

		関東 北陸 南東北	信越 中部 北東北	中国	四国	北海道 九州	沖縄
A	アイス10個	4,644	4,752	4,860	4,968	5,076	5,616
B	3種アイス 10個	4,968	5,076	5,184	5,292	5,400	5,940
C	アイス6個	3,564	3,672	3,780	3,888	3,996	4,536
D	チーズ3種	4,536	4,644	4,752	4,860	4,968	5,184
E	カレー2箱/ チーズ5種	6,048	6,156	6,264	6,372	6,480	7,020
F	ヨーグルト/ 牛乳	2,916	3,024	3,132	3,240	3,348	3,888
G	カレー6箱	4,320	4,320	4,536	4,644	4,752	5,292
H	青卵12個 / ジャム2種	3,996	4,104	4,212	4,320	4,428	4,968
I	赤卵30個	1,728	1,836	1,944	2,052	2,160	2,700
J	アイス20個	7,668	7,776	7,884	7,986	8,100	8,964

※カレーは 1 種類(スタンダード)のみになりました。

内容の詳細をご希望の方は、事務局まで
ご連絡ください。詳細チラシをお送りいたします。

La Forêt, C'est la Vie!

Vol.75

編集 岡本敏樹 菅川拓也 本所稚佳江 大谷恵美 / 印刷 社会福祉法人東京コロニー

発行所 (特活) 緑のサヘル ホームページ: <http://sahelgreen.org/> E-mail: agsj_tokyo@sahelgreen.org

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町 16 番地 NAS ビル 3F TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041